



片頭痛と眼

日本には約**850**万人の片頭痛患者が存在すると言われております。ズキンズキンと拍動性の頭痛が、週に2回程度から月に1回程度まで、間欠的に出てきます。頭痛は短くて4時間、長いと3日間程続きます。片頭痛には前兆として、**閃輝暗点**や**視野欠損**などの視覚症状が出る場合があります。

片頭痛をお持ちの方の多くは、病院を受診せずに、市販薬の痛み止めを内服して頭痛をコントロールしようとします。しかし、痛み止めを内服しても強い頭痛に襲われるとさらに薬の量が増え、いつのまにか、薬の多用による頭痛も合併することになり、症状が悪化してしまう場合があります。

片頭痛治療には予防薬が存在しますが、新しいタイプの薬剤が使えるようになりました。痛みを抑える対症療法的な治療ではなく、**予防治療に重点**がおかれつつあります。

オルソケラトロジー

寝ている間に特殊なコンタクトレンズを装用し、日中は裸眼で過ごすことのできる**オルソケラトロジー**。当院でも、導入することになりました。

近年では視力の矯正効果だけでなく、**近視抑制**にも効果があることが知られており、オルソケラトロジー治療を小学生の頃から受けるご家庭も増えてきました。詳しくは、院長に聞いてください。



LINEお友だち登録

11月30日現在で
407名の方にお友だち登録をしてもらっています。

